

数学的リテラシーを発揮する生徒の育成

—創造的に数学を用いさせることを通して—

教育学研究科 教育実践高度化 教科指導重点コース 理数・自然系（数学）

氏 名（ 近藤 義晃 ）

愛知教育大学附属名古屋中学校に勤務し、数学科の一員として、平成 29 年度から教科研究に取り組んでいる。教科研究を進めるにあたり、様々な教材開発を行い、毎年授業公開を行ってきた。これらの経験を基に、評価方法と教材開発をねらいとして、単元を通したカリキュラム作りの研究を行った。

研究の成果として、具体的な事象における課題を解決する際は、適切な状況設定をすることが、単元での学習を活かした学びにつながる事が分かった。具体的には、単元を超えて様々な解決方法を提案しながら、文脈を捉え解決策を導く生徒の姿が見られた。また、単元を通したカリキュラムを作る際には、評価指標を基に、学習のつながりを意識した課題を各節において設定することが、深い理解を伴った知識の習得につながる事が分かった。その際に、思考ツールを使ったり、授業日記など文章で表現させたりすることが有効である事が分かった。